

生活応援・地域復興 第22号

1995.11.28

救援ニュース

都市生活現地救援本部
西宮市津門西口町7-3
電話：0798-36-6679

ふれあい共生塾

中国語講座開講へ！

ふれあい共生塾ではハングル講座に続いて中国語講座を新たに開講することになりました。中国語の学習を通じて中国の人々の生活と文化にふれるという目的で、毎週一回授業を行います。当面は基礎的な会話の練習が中心になる予定です。

講師は、ふれあい共生塾の趣旨に暖かい御理解を示して下さった、劉木(りゅうむ)さんをお願いすることになりました。

1月13日(土)
午前10時から(予定)

た。劉さんは吉林省長春の御出身で、現在は大阪市立大学の博士課程で日中比較文学を専攻されています。中国東北人特有の色白でスラリと長身の青年です。

なお、受講申し込み・お問い合わせは下記現地救援本部にて受け付けています。

中国語会話講座・塾生募集！！

1月13日(土)開講(予定)

講師：劉木さん(大阪市立大博士課程)

募集定員：10名

場所：生協都市生活「組合員活動センター」(現地救援本部兼用) JR「西宮」、阪神「西宮東口」から徒歩数分、阪急「今津」から徒歩10分

日時：毎週土曜日 午前10:00～12:00

費用：月(4回)＝2,000円(講師謝礼、施設管費)他に教材費(本一冊程度の負担あり)

その他：入塾自由。組合員以外の一般の方も参加できます。

お問い合わせ・お申し込み先：生協都市生活ふれあい共生塾運営委員会(準)

TEL0798-36-6679(現地救援本部内)

◆現地救援本部◆ 新スタッフ紹介

～前編～

すきさき いの
鋤先 功(39歳)

“こんにちは”。あいさつが遅れて申し訳ありません。私

は、九州各県と山口&広島県に会員生協がある、グリーンコープ連合からやってきました。11月7日夕方、西宮市津門西口町の都市生活生協現地救援本部に到着。翌日(水)から、ポーア

現地救援本部 INFORMATION

♥ポーアイ水曜救援青空市♥

神戸市中央区

ポートアイランド

第1～4仮設住宅

12月6、13日(水)

午後1時～

★もちつき大会☆

12月10日(日)

伊丹市荻野仮設住宅

12月10日(日)

神戸市東灘区

瀬戸公園仮設住宅

(同じ日に2ヶ所で行われます)

お問い合わせは現地救援本部

TEL0798-36-6679

まで

イ(ポートアイランド)青空市活動に参加しています。

グリーンコープ連合の事務所は福岡市にあり、新幹線の終点にも位置する博多駅から歩いて2分程の、博多ビルの7階にあります。仕事内容は、農産部地方版編集課にいて、青果&米の商品カタログ編集作業を行っています。毎週組合員に配布するカタログ類があり、その中の1部の作業に関わっています。

現地救援本部への応援は、グリーンコープから2週間交替で来ます。カタログ2週分を作成するには、大変長い期間に感じられます。しかし、震災からの10か月に比べると現地救援本部での2週間はごく短い期間です。

僅かな期間ですが、自分でできることをがんばっていきたいと思います。どうぞ、よろしく！(次号後編に続く)

11月12日に行われた“生命の祭”の抽選券を、10月下旬から11月上旬にかけて都市生活、大阪東部、泉北各生協の組合員が六甲アイランド内の仮設住宅二千百戸を戸別訪問して住民に手渡しました。その時の様子を東部生協の菊池さんに報告していただきました。（編集部）

一軒一軒訪ね歩いて

大阪東部生協 菊池千枝子さん

東部生協から、仮設を訪ねて“生命の祭”が開かれることを一軒一軒伝えてほしいと頼まれたとき、元気を出そうとはりきっているお祭りにお年寄りの方々が抵抗感なく入っていけるだろうか、その辺の所を生協としてはどうフォローしていくのか、ちょっと気になりました。

実際にお年寄りの方々にお会いして、思ったより落ちつい

て、淡々としているという印象を持ちました。ただ、入居に際してお年寄りを優先させたせいか、まとめ役が非常に少なくバラバラという感じを受けました。

仮設の方々が何か望まれていることがあれば、それもお聞きしてほしいとのことでしたので、二軒めのお宅でちょっと触れてみました。「そうです

ね。」と何か言いたそうでしたが、生協さんですよ。特にありません。」と言われた一言に、何ともやりきれないものを感じました。行政にだったら言いたいことはいっぱいあるのに、“生協”という後ろ盾を背負ってまわっている以上、同じ答えしか返って来ないことに気がついたからです。

仮設に入っている方々の本音を聞き、どうしたらよいか、何ができるのか、そんなことを考える手だてに少しでも近づけたらと思っていただけに、ボランティアとは何なのか、ボランティアの難しさをあらためて感じました。

11月19日、西宮市の西宮浜仮設住宅（400戸）でもちつき大会が行われました。ふれあいセンターの運営にかかわる西宮市職員有志の会「元気会」と都市生活の組合員渡辺圭子さんが企画したこのイベントは、KTH共同事業所による花のプレゼントに人が殺到し、腕に覚えのある仮設住民が自らきねをとるなど、大

盛況でした。

また前日には西宮支部の組

西宮

もちつき大会

合員が30キロのもち米を洗って水につけ込み、小豆あんを作って裏からこのイベントを支えてくれました。

仮設で400食！！

11月19日に

決めました。

当日のスタッフはポーアイから組合員の村上さん・平岡

ポートアイランド

カレー・綿菓子

さん、尼崎から木村さん、救援本部から2名。しかし、カレー400食というのは初めて

今後も、クリスマス会や大みそかの宴などを催そうという声が上がっています。興味がおありの方は現地救援本部までお気軽にお声をかけて下さい。

の経験。そこで仮設の住民の皆さんにもお手伝いを呼びかけたところ、かっぼう着姿のおかあさん・おばあさんが大活躍。無事400食を作り上げ、綿菓子はすぐに売り切れとなり、たいへん楽しい一日でした。

なお、この日の様子は次号以下で詳しくお伝えします。

神戸市中央区のポートアイランド第2仮設住宅（400戸）で同じ19日、ふれあいセンターの開所式が行われました。

この仮設住宅は救援青空市の会場でもあり、直前になって自治会から都市生活に400食の炊き出しの依頼がありました。時間の都合もあり、メニューは作り慣れたカレーに